【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成23年9月22日(2011.9.22)

【公開番号】特開2009-52021(P2009-52021A)
【公開日】平成21年3月12日(2009.3.12)
【年通号数】公開・登録公報2009-010
【出願番号】特願2008-155734(P2008-155734)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｌ　33/04　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　5/30　(2006.01)
Ｃ０８Ｋ　5/3492　(2006.01)
Ｃ０８Ｊ　5/18　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/1335　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｌ　33/04
Ｇ０２Ｂ　5/30
Ｃ０８Ｋ　5/3492
Ｃ０８Ｊ　5/18　ＣＥＹ
Ｇ０２Ｆ　1/1335　５１０

【手続補正書】
【提出日】平成23年8月4日(2011.8.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ラクトン環構造、無水グルタル酸構造、グルタルイミド構造、Ｎ－置換マレイミド構造および無水マレイン酸構造から選ばれる少なくとも１種の環構造を主鎖に有する熱可塑性アクリル樹脂と、ヒドロキシフェニルトリアジン骨格を有する、分子量が７００以上の紫外線吸収剤と、を含み、
１１０℃以上のガラス転移温度を有する熱可塑性樹脂組成物。
ここで、前記ヒドロキシフェニルトリアジン骨格は、トリアジンと、トリアジンに結合した３つのヒドロキシフェニル基とからなる骨格（（２－ヒドロキシフェニル）－１，３，５－トリアジン骨格）である。
【請求項２】
前記環構造がラクトン環構造である請求項１に記載の熱可塑性樹脂組成物。
【請求項３】
シアン化ビニル単量体と芳香族ビニル単量体との共重合体をさらに含む請求項１に記載の熱可塑性樹脂組成物。
【請求項４】
前記アクリル樹脂が、スチレン単位を構成単位として有する請求項１に記載の熱可塑性樹脂組成物。
【請求項５】
厚さ１００μｍのフィルムとしたときに、ＪＩＳ　Ｋ７３６１：１９９７の規定に準拠して測定した波長３８０ｎｍおよび５００ｎｍの光の透過率が、それぞれ、１％以下および９０％以上であり、

厚さ１００μｍ、サイズ１ｃｍ×３ｃｍのフィルムとしたときに、当該フィルムを１５０℃で１０時間加熱して得た揮発成分を体積１ｍＬの溶媒に溶解させ、得られた溶液を光路長１ｃｍの石英セルに収容して吸光度計により測定した波長３５０ｎｍの光に対する吸光度が０．０５未満である請求項１に記載の熱可塑性樹脂組成物。
【請求項６】
ラクトン環構造、無水グルタル酸構造、グルタルイミド構造、Ｎ－置換マレイミド構造および無水マレイン酸構造から選ばれる少なくとも１種の環構造を主鎖に有する熱可塑性アクリル樹脂を重合した後、
ヒドロキシフェニルトリアジン骨格を有する、分子量が７００以上の紫外線吸収剤と、前記熱可塑性アクリル樹脂とを溶融混合して、１１０℃以上のガラス転移温度を有する熱可塑性樹脂組成物を得る、熱可塑性樹脂組成物の製造方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
本発明の樹脂組成物は、熱可塑性アクリル樹脂（樹脂（Ａ））と、分子量が７００以上の紫外線吸収剤（ＵＶＡ（Ｂ））とを含み、１１０℃以上のガラス転移温度（Ｔｇ）を有する。樹脂（Ａ）は、ラクトン環構造、無水グルタル酸構造、グルタルイミド構造、Ｎ－置換マレイミド構造および無水マレイン酸構造から選ばれる少なくとも１種の環構造を主鎖に有する。ＵＶＡ（Ｂ）は、ヒドロキシフェニルトリアジン骨格を有する。ここで、前記ヒドロキシフェニルトリアジン骨格は、トリアジンと、トリアジンに結合した３つのヒドロキシフェニル基とからなる骨格（（２－ヒドロキシフェニル）－１，３，５－トリアジン骨格）である。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
本発明の熱可塑性樹脂組成物の製造方法では、ラクトン環構造、無水グルタル酸構造、グルタルイミド構造、Ｎ－置換マレイミド構造および無水マレイン酸構造から選ばれる少なくとも１種の環構造を主鎖に有する熱可塑性アクリル樹脂を重合した後、ヒドロキシフェニルトリアジン骨格を有する、分子量が７００以上の紫外線吸収剤と、前記熱可塑性アクリル樹脂とを溶融混合して、１１０℃以上のガラス転移温度を有する熱可塑性樹脂組成物を得る。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３

【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】削除
【補正の内容】